

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル2**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

指標	時点・期間	数値
最大確保病床利用率(使用数)	5月25日(水)	27.7% (233名)
新規感染者数	5月19日(木)～5月25日(水)	4,064名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（5月20日発表）	今回（5月27日発表）
レベル2 なお、感染状況は横ばいの状況である。	レベル2 なお、感染状況は横ばいの状況である。

3 県民の皆様へのお願い

本県の新規感染者数は、連休後に一定の増加が見られましたが、横ばいに推移しています。

今般、国の基本的対処方針が改定され、マスク着用の場面について例示されました。本資料の「3 県民の皆様へのお願い」の該当項目も更新していますので、県民の皆様におかれては、熱中症を避けながら基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。特に、少しでも症状がある場合は仕事等を休み、受診していただくようお願いいたします。また、希望する方は3回目のワクチン接種を受けていただくようお願いいたします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）5月27日】

1 熊本県における現状認識

全国の新規感染者数は連休後に増加したが、その後は緩やかな減少が見られている。

本県の5月25日時点の入院者数は233人（最大確保病床に対する使用率：27.7%）、5月19日から5月25日までの新規感染者数は4,064人である。現状から、本県のリスクレベルはレベル2とする。

本県の新規感染者数は、連休後に一定の増加が見られたが、横ばいに推移している。

今般、国の基本的対処方針が改定され、マスク着用の場面について例示された。本資料の「3 県民の皆様へのお願い」の該当項目も更新しているため、県民の皆様におかれては、熱中症を避けながら基本的な感染防止対策の徹底をお願いする。特に、少しでも症状がある場合は仕事等を休み、受診していただくようお願いする。また、希望する方は3回目のワクチン接種を受けていただくようお願いする。

前回（5/20発表）	今回（5/27発表）
レベル2 なお、感染状況は横ばいの状況である。	レベル2 なお、感染状況は横ばいの状況である。

[熊本県リスクレベル]

【目的】感染者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

レベル	該当する状況	本県の基準		本県で想定する対策例
		病床基準※2	新規感染者基準※3	
レベル4 避けたい レベル	一般医療を大きく制限しても対応困難	80% (673人)	—	<ul style="list-style-type: none"> 国への災害医療的な対応依頼 積極的疫学調査の重点化 等
レベル3 対策強化 レベル	一般医療の制限が必要	40% (336人)	50人 (869人)	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン・検査パッケージ制度適用の停止 【緊急事態措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、休業・時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等 【まん延防止等重点措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等
レベル2 警戒強化 レベル	感染増加傾向が見られているが、病床数を増やすことで対応できている状態	15% (126人)	10人 (174人)	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店を起因として県内の感染が拡大する場合、認証店以外の飲食店の時短要請※4、国へのまん延防止等重点措置要請 国とまん延防止等重点措置要請の協議開始 感染状況に応じ、感染不安を感じる無症状者への検査受検要請を検討 飲食店等の人数制限要請※1 感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請 感染リスクの高い行動回避の呼びかけ 段階的な病床の確保 等
レベル1 維持すべき レベル	一般医療が確保	—	1人 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的感染防止対策徹底の要請 イベントの感染防止対策徹底等の要請
レベル0 感染ゼロ	新規感染者ゼロを維持	県内で継続的な感染が起こっていない状況		<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域への移動を控える呼びかけ※1 等

(※1)ワクチン・検査パッケージ制度適用等による緩和対象

(※2)最大確保病床使用率(5/20時点：841床に対する入院者数)

(※3)週の新規感染者数/人口10万人(本県人口換算)。人口は令和2年国勢調査の数値

(※4)自主的に時短に協力した認証店には協力金を支払う

(注1)病床基準と新規感染者基準を踏まえ、感染拡大傾向や他県の状況を鑑み、総合的にレベル判断を行う。

(注2)感染状況や、重症病床使用率、変異株の流行状況によっては、基準によらない判断を行うことがある。

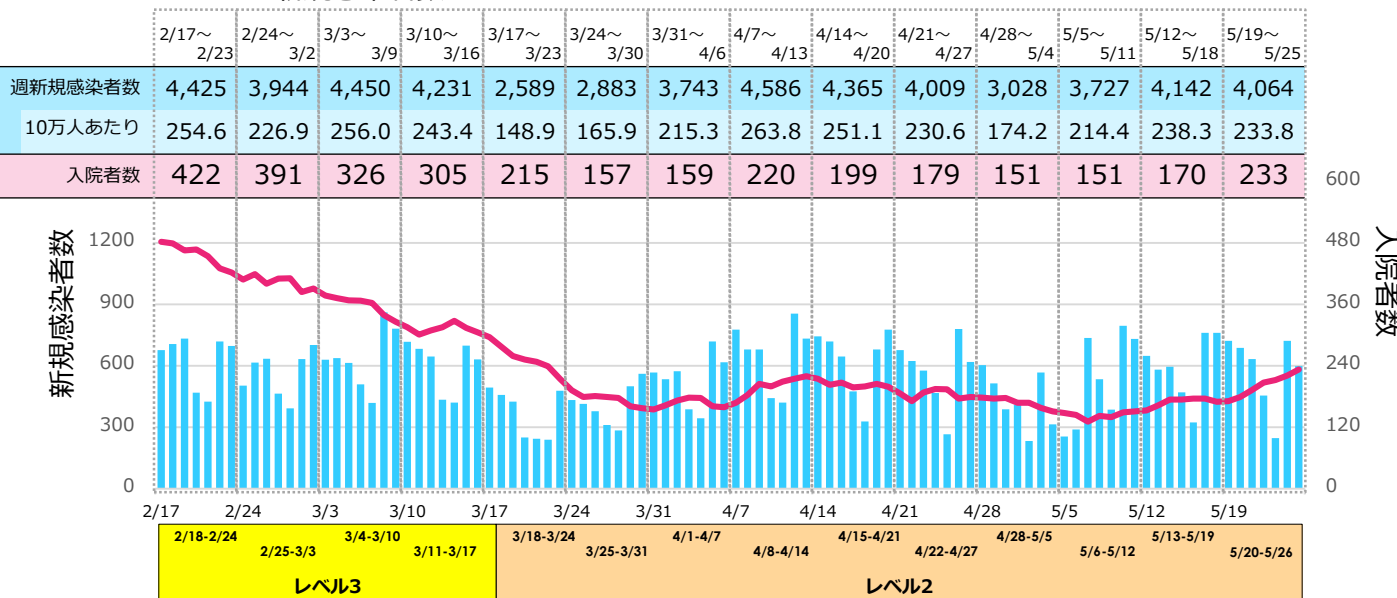
2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (5月26日現在)

- 熊本県の5月25日時点の入院者数は233人（最大確保病床に対する使用率：27.7%）、5月19日から5月25日までの新規感染者数は4,064人である。したがって、県リスクレベルはレベル2とすることが妥当である。
- 最近、マスク着用についての議論が盛んになり、国の基本的対処方針も改定された。改めて、新型コロナウイルスの感染経路やマスクの効果等について整理してみたい。
- 新型コロナウイルス感染症の感染経路は、飛沫（大きな飛沫）感染とエアロゾル（小さな飛沫や、飛沫核）感染が中心で、オミクロン株においては特にエアロゾル感染が増加していることが示唆されている。
- 人が咳やくしゃみ、発話などを行う際に、様々な大きさの飛沫が生じる。その飛沫の大きさにより含まれるウイルス量が異なるため、感染者の近くには感染性の高い大きな飛沫が飛散し、数秒後には落下する。マスクをしていない場合、その範囲内にいた場合、感染する可能性が高まる。小さい飛沫は、感染性は低いものの、水分が蒸発することで、たばこの煙のように空間に数十分は留まる。換気がされていない室内などの環境では、濃度が高まるにつれ、距離が離れていても感染可能性が高まるものと考えられる。
- 大きい飛沫も小さい飛沫も、マスクに遮られる※ことから、マスクの有効性は疑いようがない。100%遮るわけではないため、完全に感染を防ぐものではないが、感染症対策の本質は、暴露する病原体の量の低減によるリスク低減の積み重ねであり、感染を防ぎたい場合はマスク着用は、当然に推奨される。
- 今般、国がマスクを着用する必要がないとして示したのは、感染リスクが低い場面であり、マスク着用によるリスク低減効果が相対的に下がるため、外しても支障ないという考え方である。これは、新たな考えが示されたわけではなく、おそらくこれまでも各自の判断で行われていたようなことを明確に例示したものである。
- これに対し、マスクの着用義務が解除された諸外国においては、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが下がったわけではなく、重症化率や致死率が下がる中で、一定の感染者の増加というリスクを許容しても、マスクを外す方が国民にとって好ましいという、政治的な決定がなされたと考えるべきである。今後、日本においても、一定のリスクをとっても日常生活を取り戻すという政治判断が行われる可能性はあるが、十分なリスクコミュニケーションの実施が望ましい。
- また、仮に社会が感染者の一定の増加を許容したとしても、個人にとっては感染しないに越したことはない。自分や周囲の方の年齢や持病などの重症化リスクを考えつつ、各人が結果や責任を考慮して対策を判断するという考え方も重要である。

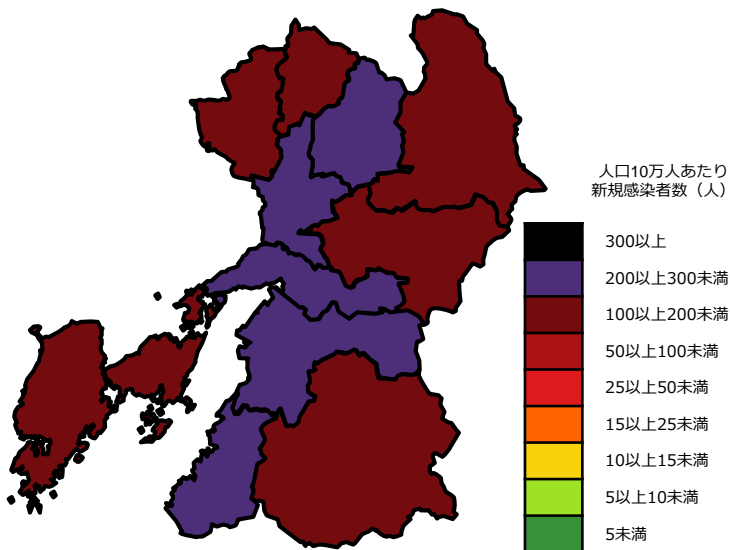
※…マスク繊維の隙間より小さい粒子であっても、一定の捕集効果があると考えられている。
(新型コロナウイルスや花粉症でのマスク装着に関する日本エアロゾル学会の見解, 日本エアロゾル学会, 2020年2月21日掲載)

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（2/17~5/25）：公表日ベース】

■ 新規感染者数 ■ 入院者数



【保健所ごとの感染例の確認状況】



保健所名	5/19~5/25	
	新規感染者数	人口10万人*1あたり
熊本市保健所	1,968	266.4
有明保健所	253	164.4
山鹿保健所	82	167.3
菊池保健所	473	253.3
阿蘇保健所	117	199.3
御船保健所	102	124.4
宇城保健所	257	250.6
八代保健所	380	283.2
水俣保健所	89	204.6
人吉保健所	160	196.4
天草保健所	183	170.3

*1 各保健所管内の人口は、国政調査(2020年10月1日現在)に基づく

【医療提供体制、感染状況に関する参考指標】

時点	医療負荷の参考指標						感染状況の参考指標				
	重症病床 利用率 (最大確保病床)	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	必要病床数予測※2			検査陽性率	感染経路 不明割合	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
5月25日	4.4%	6,341人	3.7%	3人	59人	224	340	373	32.7%※3	32.2%※4	1.0
5月18日	7.4%	6,059人	2.8%	5人	45人	221	351	432	33.9%	33.6%	1.1
5月11日	7.4%	4,967人	3.0%	5人	44人	204	330	436	33.6%	50.4%	1.2
5月4日	5.9%	4,769人	3.2%	4人	48人	185	212	188	34.4%	34.9%	0.8
4月27日	5.9%	7,047人	2.5%	4人	48人	216	301	316	29.9%	36.2%	0.9
4月20日	2.9%	6,294人	3.2%	2人	46人	216	316	342	31.1%	36.6%	1.0
4月13日	5.9%	6,129人	3.6%	4人	62人	269	429	565	32.2%	38.2%	1.2
4月6日	8.8%	5,819人	2.7%	6人	48人	215	348	478	31.0%	43.7%	1.3

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上(174人)の場合に適用

※2 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール(国立感染症研究所)の短期予測を用い、本県のデータを用い算出(感染が急激に増加する場合は、誤差が非常に大きくなるため、ツール制作者が認める範囲内でパラメータを調整する場合があります)

4月13日時点からワクチン3回目接種の効果を加味。

※3 新規感染者数(公表日ベース)及び県内の全検査数の1週間合計より算出

※4 調査が完了した3,304名の調査結果から算出したもの。調査が完了していない事例(リンクが判定されていない)760名分は分母に含まれない。

3 県民の皆様へのお願い（5月27日発表）

熊本県リスクレベルは、**レベル2**です。また、感染状況は横ばいの状況です。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒、換気
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用を推奨する場面※は次のとおりです。
 - 屋内において、他者と距離（2m以上を目安）がとれない場合
 - 屋内において、他者と距離がとれるが会話を行う場合
 - 屋外において、他者と距離がとれず会話を行う場合
 - 重症化リスクの高い者と接する場合
- ・手洗い、換気、人と人との距離の確保等を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

※…特に夏場については、マスク着用が必要ない屋外の場面では、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨。
また、就学前の子どもは、2歳未満では着用が推奨されないほか、2歳以上であっても周りの大人が子供の体調に注意したうえでの着用が必要。

2 検査受検

わずかでも発熱などの症状がある方

外出せず、すぐにかかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合



症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

無料検査について



3 移動・外出

【移動】

・都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。

※沖縄県に移動される方は、その前にワクチン3回目接種又は検査で陰性を確認することにご協力をお願いします（沖縄県・国からの呼びかけ）。

【外出】

・マスク着用等の感染防止対策を徹底してください。
・感染リスクの高い「3つの密」のある場所への外出は自粛してください。

4 会食はリスク大！特に注意しましょう

- 会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- なるべく普段から一緒にいる人と
- 人数を絞って



熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場合に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをおみんなで実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認できます。
- 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするようお店と相談しましょう。
- ※ 認証店を除きますが、下記のような工夫で感染リスクを下げましょう。

STEP2 会食前に下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる！

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
- 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や咳の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 飲酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲食の影響で参加者の気分が高揚し、マスク無しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 会食後に下げる！

- 長時間かつ深夜のはしご酒は控えましょう。
- 帰宅前後の手洗いなどにより、家屋内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 方が、発熱等の症状が出た場合は、速にかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

- 県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- 感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。
- 飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。
- 宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

(注)認証店：「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けた店舗

5 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

- 県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。

【認証制度】

- 感染防止対策が徹底されている「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト



認証制度



※…認証店における会食を除く。

6 イベント開催

- 県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- 参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】のいずれか小さい方に制限してください。
- 感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他 (感染防止安全計画を策定しない)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

イベントの開催制限について



「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当
詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減(可能な範囲で目標を設定)への取り組み
- ・職場における感染防止のための取り組み(手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等)の徹底

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取り組み(職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等)の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・連休後のリバウンド防止のため、保育所で希望する場合は保育士等に対する集中的検査の実施
- ・市町村の代替保育の実施を支援

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・感染防止対策の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼
- ・連休後のリバウンド防止のため、小学校で希望する場合は教職員に対する集中的検査の実施

高齢者施設等

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

その他

- ・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがいつでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々には責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にならないよう、お願いします。

また、県では、基本的な感染防止対策として、マスクの着用をお願いしているところですが、障がいや病気などの様々な事情でマスク着用が困難な方がいらっしゃいます。県民の皆様におかれては、このような様々な事情により、マスクをつけられない方がいらっしゃることをご理解いただきますようお願いいたします。

熊本市の状況と対策

熊本市の新規感染者数は、先週と比較して横ばいとなっております。

依然として20歳未満を中心に多くの感染者が発生していることから、引き続き、基本的な感染防止対策を徹底するなど、一人一人が感染リスクを下げる行動を取ることが必要です。

【対策】

- ✓ ワクチン接種の着実な実施（追加接種・小児接種等）
- ✓ 保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
- ✓ 保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
- ✓ 熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
- ✓ さらなる病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

- ・ 熊本市から熊本市民の皆様への要請は次のとおりです。
 - ✓ **家庭での感染防止対策**を徹底してください。
特に、**子ども及び高齢者への感染防止対策**を徹底してください。
 - ✓ **基本的な感染防止対策**を徹底してください。（手洗い・うがい・手指消毒・換気・マスク着用（※））
※…マスク着用が推奨される場面の詳細については、資料4ページをご参照ください。
 - ✓ 宴会等はなるべく普段から一緒にいる人で行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。
 - ✓ 「**熊本県飲食店感染防止対策認証制度**」を活用してください。
 - ✓ 職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。
また、**テレワーク**や**時差出勤**等に協力してください。
 - ✓ **症状は無いが、感染に不安を感じる方（熊本県民に限る）**については、**熊本県が実施している無料PCR等検査**を受検していただくようお願いいたします。